

♪♪学校祭モザイクアート♪♪

学校祭にて全校生徒で作成したモザイクアートが、
中日新聞の取材を受けました。

一宮市小信中島の県立起工業
高校の昼間定時制の全生徒二百
人が、地元の名鉄尾西線を走る
列車と、のこぎり屋根工場のモ
ザイクアートを作った。列車の
赤と工場の黄色が鮮やかに映え
る縦八段、横五・五段の力作
で、校舎の壁面に、十日午前中
まで掲げる。

生徒らは小さく切った折り紙
を貼り合わせて風景を描いた。
三年前から学校祭に合わせ全生
徒で制作する取り組みで、今年
の題材は、本紙の夕刊連載「出
発進行」を読んだ尾関達哉教頭
(五)が「地元の文化を知るさっ
かけに」と提案した。学校周辺
の起地区には、織物工場として
使われたのこぎり屋根の建物が
数多く残る。

記事の写真を基に、パソコン

尾西線とのこぎり屋根
起工高がモザイク画に

で赤、黄などと基盤目状に区分
けたB4サイズの紙を四百枚
作り、クラスごとに配布。休み
時間や放課後を使い、約一カ月
かけて一・五段角の折り紙を貼
った。九日、有志二十人がつな
ぎ合わせて仕上げた。

記事を読み、のこぎり屋根に
ついて学んだという生徒会長
の吉川普隆さん(心)は「一宮の
文化を知ってもらうきっかけ
になれば」と期待。副会長の中
田夏美さん(心)は「助け合いな
がら皆が作業する姿がうれし
かった。学校の伝統として受け
継いでいってほしい」と話し
た。

作品は、十日に市中部であ
る「おいち祭り」で本町商店街
のアーケードに飾る。

(高本容平)

(中日新聞 十月十日朝刊)



十月十日登校風景

多くの生徒が、モザイクアートを
見上げながら登校しました。